

平成 25 年度泉大津市行政評価委員会「泉大津市外部評価」
実施要領

1 趣旨

外部の客観的な視点を入れた議論、評価を通じて、質の高い行政サービスの提供や業務のいっそうの効率化を図るとともに、公開の場における議論、評価を通じて、市政の透明化の向上並びに市の説明責任の徹底を図ることを目的に、平成 25 年度泉大津市行政評価委員会「泉大津市外部評価」を実施するために、必要な事項を定めるものとする。

2 事業の選定

評価対象とする事業は、本市が実施するすべての事業のうち、原則として次に掲げる事項をみたす事業を抽出し、選定するものとする。

- (1) 外部の視点からの議論が有意義であると考えられる事業
- (2) 事業内容、手法等において、改善の余地、可能性があると考えられる事業
- (3) 費用対効果の点で見直しが必要ではないかと考えられる事業
- (4) 効果、成果が不明確と思われる事業

3 実施方法

(1) 実施日時及び会場

平成 25 年 8 月 3 日（土） 午前 10 時 00 分～午後 16 時 00 分
テクスピア大阪 3 階 第 2 研修室（泉大津市旭町 22 - 45）

(2) 対象事業

評価対象事業は、次の 5 事業とする。

事業名	担当課
交通安全教育・啓発事業	土木課
文化フォーラム事業	秘書広報課
包括連携大学交流事業 （シニアラーニングアップ事業）	企画調整課
認可外保育施設健康診断助成事業	児童福祉課
住基・印鑑登録事務事業	市民課

(3) 外部評価委員

外部評価委員は、学識経験者 3 人、行政経験者 2 人をもって構成する。

役割	氏名	所属
委員	鶴坂 貴恵	プール学院大学短期大学部教授
委員	森本 和義	羽衣国際大学現代社会学部教授
委員	黒田 隆之	桃山学院大学社会学部准教授
委員	溝口 和彦	行政経験者（泉大津市内在住）
委員	田川 静一	行政経験者（泉大津市内在住）

(4) 評価の進め方

評価の進め方は、次のとおりとする。

- ① 1事業あたりの時間は、45分とする。
- ② 事業担当職員は、事務事業シート、参考資料に基づき、事業の要点や補足事項等について、簡潔に説明する。(10分)
- ③ 各評価委員から事業担当職員に対して、質疑応答を行い、事業のあり方、改善方策について議論を行う。(30分)
- ④ 委員のうち、互選により選任された委員長は、質疑応答・議論及び各委員による評価の集計結果を踏まえ、委員会としての評価結果を示す。(5分)

(5) 評価基準

区分	内容
A.継続	大きな見直し点はなく、現行どおり継続することが望ましい。
B.見直し	事業は継続するが、手法や事業費分担等に見直すべき点がある。
C.休止・廃止	事業の休止、廃止が望ましい。

(6) 当日の流れ

時間	番号	事業等	担当部署
9:45	—	開場	
10:00	—	開会	
10:00~10:05	—	副市長あいさつ	
10:05~10:15	—	事務局概要説明	
10:15~10:20	—	委員長あいさつ	
10:20~11:05	1	交通安全教育・啓発事業	土木課
11:10~11:55	2	文化フォーラム事業	秘書広報課
11:55~12:55	—	昼休憩	
13:00~13:45	3	包括連携大学交流事業	企画調整課
13:50~14:35	4	認可外保育施設健康診断助成事業	児童福祉課
14:40~15:25	5	住基・印鑑登録事務事業	市民課
15:25~15:35	—	休憩	
15:35~15:45	6	委員長評価 講評	
15:45		閉会	

4 評価結果の活用、公表

担当課は、評価結果や議論された内容等を踏まえ、今後の方向性を十分に精査・検討する。検討結果については、公表するとともに、事業の見直しに活用する。